

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	小学校施設保全					所管	教育委員会 庶務課		
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 平成17年度	
		[小 柱]							[終了予定] - 年度	
		[施 策]								
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		台東区教育委員会事務局処務規則					
	事業対象	直接的な対象:区立小学校 最終的な対象:区立小学校在学児童								
	事業目的	計画的に工事を実施することにより、小学校施設の維持と教育環境の質的向上を図る。								
事業内容	小学校施設の機能回復を図る工事を実施し、教育環境を向上させる。 計画工事(床改修、校庭・プール再舗装・電気設備工事・外壁改修工事など)									
委託の有無	なし	委託内容								
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	工事件数		件	9	8	14	7		
		成果指標								
	決算額 (単位:千円)					59,457	59,075	108,626		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			4,476	3,977	4,272			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,419	0	0			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			58,037	59,075	108,626			
		総経費			63,932	63,052	112,898			
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0			
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			13,037	2,880	0			
一般財源(区負担額)			50,895	60,172	112,898					
前回評価から改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	設置者である区の責務として計画的に工事着手し、施設環境を改善していく必要がある。							
	効率性	3	安全性や緊急性を第一に、工事の優先順位を決定するとともに、工事手法の見直しや繰り延べ等を行い、経費節減に努めている。							
	手段の適切性	3	経年劣化に伴う設備更新の時期が集中するなか、大規模改修の計画とは別に優先度等から総合的に判断のうえ、適切に施設保全を図っている。							
	目的達成度	3	児童の安全面と機能向上を第一に、計画的に工事を実施している。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	維持 拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		
事後復旧的な工事が増加傾向にあるため、予防保全の観点から計画的に施設・設備の更新を図っている。今後も、良質な教育環境を提供していく必要がある。										